

小田原創友クラブ

第72号

【発行】小田原市老人クラブ連合会

〒250-0055 小田原市久野115-2 ☎(0465)32-5800 編集 創友クラブ教養部

【印刷・編集協力】株博報社 関東支社 神奈川県厚木市愛甲1-8-39 ☎(046)280-6001代



地域社会と共に、 高齢者が住みよいまちづくりを目指して

小田原市老人クラブ連合会

(小田原創友クラブ) 会長 大友 昭夫

明けておめでとうございます。会員の皆様方におかれましては、お健やかに明るい希望に満ちた新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

皆様には日頃から地域の社会奉仕や友愛活動、健康増進活動、そしてクラブの諸事業にも取り組まれ、ご協力いただき厚く御礼申し上げます。

さて最近の高齢化の進展に伴い、単身高齢者が1割を突破し65歳以上の高齢者が28%という国勢調査の集計結果が新聞等で報道されました。こうした長寿社会の中、率直に私たちが抱える課題が多様化、複雑化してきているのが現状であります。高齢者の豊富な経験を生かし地域での支え合い、助け合うことの大切さ、会員相互の声掛け等が、大きな支援となり、住み慣れたところで安心して暮らすことができる地域の礎となると考えます。

小田原市26地区自治会連合会には「まちづくり委員会」が近年地域に結成され、地域コミュニティとして諸団体と連携し支援事業を推進されております。

小田原創友クラブでも地域によっては積極的にこれらに参加し、通学路の見守り、清掃奉仕活動を継続し、一方要介護者や、一人暮らしの見守り、仲間づくりの加入促進等で成果を上げております。

これからは一歩進んで、より一層地域の一員として社会参加する必要がある、ぜひ各単位クラブ活動の中でご配慮いただくことを希望します。また、昨年11月16日には県老連功労者表彰のつどいにおいて、東富水友愛チームが永年にわたる奉仕活動で神奈川県知事賞を受賞しました。

結びに、皆様の益々のご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、年頭の挨拶とさせていただきます。

私たちは小田原市老人クラブ連合会の活動を応援しています



明けましておめでとうござい
ます。

小田原市老人クラブ連合会
の皆様方におかれましては、「平
成」として迎えた最後の新年を
晴れやかに、そして健やかに過
ごしのことと心からお慶び申し
上げます。

また、会員の皆様には、日ごろ
より、活動を通して各地域の発
展にご尽力を賜り厚く御礼申し
上げます。



明けましておめでとうござい
ます。

小田原市老人クラブ連合会
の皆様方におかれましては、希
望に満ちた新春をお迎えのこと
と、心からお慶び申し上げます。

また、日頃から地域のボランテ
ィア活動や清掃活動などの様々
な社会活動を通して、シニア世代
の生きがいと健康づくりの推進

昨年を振り返りますと、全国
で大規模な災害が発生し、特に

西日本豪雨や台風21号、北海道
胆振東部地震による人的・経済
的被害は甚大なものとなりまし
た。本市においても、台風12号の
接近に伴う高潮・高波により、沿
岸部を中心に大きな被害に見舞
われ、改めて自然の猛威を感じ
させられた1年でした。こうし
た災害時の対応、事後のあらゆ
る取組みにおいて、地域での支え

合いが重要であることを実感し
ているところです。

さて、少子高齢化の進行によ
る社会保障費の増加、介護人材
の不足が大きな課題となる中、
本市では、「第7期おだわら高齢
者福祉介護計画」に基づき、介
予防と自立支援を推進すると
もに、地域活動における担い手
の育成、元気なシニア層の活躍の
場の創出に係る事業において、市
民・民間事業者・行政が一体とな
った取組みを進めています。

小田原市老人クラブ連合会の
健康づくり、環境美化、子育て支
援、見守り活動など幅広い分野
にわたる活発な活動は、これら
の取組みを支えるものであり、
地域社会の維持や活性化に欠か

も、多くの方が年齢にとらわれ
ることなく、心や体の健康を保
ちながら、仕事や趣味、地域活動
など、精力的に活動しておられ
ます。

いつまでも元気に活動を続け
たいと考える方が増える中、豊
富な人生経験や知識、幅広い人
間関係を活かす場を提供し、そ
の活動をサポートしていく取組
みは、今後の町づくりには欠かせ
ないものであります。貴会が担っ
ておられる役割は、今後ますます
重要になるものと存じます。

市議会といたしましても、誰
もが明るく活気に満ち、健康で
いきがいあふれる生活を送る事

せない大きな力です。皆様には、
元気に生き生きとした毎日を過
ごしていただきながら、培ってき
た経験や知恵、新たな学びを生
かし、いつまでも活躍いただきた
いと期待しています。引き続き、
市政の様々な場面でお力添えを
賜りますようお願い申し上げます。

結びに、小田原市老人クラブ
連合会並びに各単位老人クラブ
のますますの御発展、そして今
年1年が皆様にとりまして素晴
らしい年でありますよう、心から
祈念いたします。

が出来る社会の実現に向けて努
力してまいります。そのために
は、皆様のお力添えが是非とも
必要でありますので、本年も、変
わらぬご支援・ご協力をお願い申
し上げます。

結びに、貴会のますますの御
発展と、会員の皆様方のご健勝
をお祈り申し上げます。



私たちは小田原市老人クラブ連合会の活動を応援しています

新年を迎えて



小田原市福祉健康部
部長 神名部耕二

明けましておめでとーござい
ます。

小田原市老人クラブ連合会の
皆様方におかれましては、希望
に満ちた新年をお迎えのこと
心よりお慶び申し上げます。

また日頃より福祉行政に対
しまして、格別のご理解とご協
力を賜り厚くお礼申し上げます。
さて、現在、本市の高齢化率

は29.3%、特に75歳以上の方

の割合は人口の14.7%を超え、
年々、介護サービスを必要とさ
れる方も増加しております。

このような状況の中、介護保
険法の一部改正により、自治体
には自立支援・重度化防止に向
けた取組の推進による保険者機
能の強化が求められることとな
りました。

本市におきましては、高齢者
がいつまでも元気に、また、介護
が必要になっても住み慣れた地
域で自分らしくくらししていける
社会を目指し、「第7期おだわら
高齢者福祉介護計画」に基づき、
様々な施策を展開しておりま
す。

地域全体で高齢者を支援して

いくためには、適切な介護サビ
スの提供はもちろんのこと、高
齢者の社会参加や仲間づくり、健
康の保持・増進に向けた取組が
もとめられており、「健康づくり」
「福祉友愛活動」「社会奉仕活
動」の目的をもつ老人クラブの
役割は、これまで以上に重要な

となっております。

小田原市老人クラブ連合会の
皆様には、これからも健康に留
意しながら、豊かな地域福祉の
担い手として、健康づくりや生
きがいづくり、ボランティア活動
など、様々な面でご尽力ご協力
を賜りますようお願い申し上げ
ます。

結びに、この新しい年が小田原
市老人クラブ連合会並びに各老
人クラブの皆様にとりまして、素
晴らしい年となりますよう、心
から祈念申し上げ、年頭の挨拶
とさせていただきます。

新年のご挨拶



小田原市社会福祉協議会
常務理事 露木 康男

明けましておめでとーござい
ます。

小田原市老人クラブ連合会の
皆様におかれましては、輝かしい
新年をお迎えのことと心よりお
慶び申し上げます。

さて、今年は4月末に天皇陛
下が退位され、5月からは新し
い元号の年が始まることになっ
ており、平成の時代は終わりを
告げることになります。

ここへきて、平成の30年間を振

り返る特集記事をよく見かけま

すが、それを見て一番大きな出

来事だったと思うのは、IT技術
の凄まじい進歩により、私達の生
活が一変したことであり、

皆様もスマートフォンを使いこ
なし、インターネットで全国から名
産品を取り寄せる生活が当たり
前になってはいないでしょうか。

本当に便利になったとはいえ、
一方では、社会全体のシステムの
ITへの依存度が飛躍的に高ま

り、一つの小さな事故が想像を
超える大混乱を引き起こしてし
まう脆弱性もはらむこととなり
ました。今後想定される大地震
などの災害時には、どのような
事態が生じるのかと不安が残る
ところでもあります。

これからはAIと言われる人
工知能を、様々な分野で活用し
ようと研究開発がますます進
んでいきます。AIはもう人間
相手に囲碁や将棋ばかりやって

いる時代から一歩も二歩も進ん
で、相手の声の調子まで解析し
て、顧客の求めている課題は何
かを突き止め、適切な回答を行う
コールセンター業務をこなし、あ
らゆる過去の臨床医療データや
論文データと照らし合わせて、

分析し、診断を下す人工知能ド
クターが登場するとまで言われ
ており、この先どこまでいくの
かと期待ばかりではなく、空恐ろ
しささえも感じてしまします。

これからの新しい時代、技術の
進歩による恩恵は享受しながら
も、人間はより人間らしく、時
に怒ったり笑ったり、感情をぶつ
け合いながら、家族や近所、友人
との深い絆の中で生きていき
たいものだと思っています。

今年一年が皆様方にとりまし
て素晴らしい年となりますこと
を心よりお祈り申し上げます。

私たちは小田原市老人クラブ連合会の活動を応援しています

『第53回小田原市老人クラブ
連合会大会』が開催された

教養部長 山口 繁

平成30年11月13日小田原市民会館大ホールにて、第53回小田原市老人クラブ連合会大会が開催されました。

第1部の式典は、志村副会長の司会で進行し、北村副会長の開会のことば、君が代斉唱に続き物故会員の追悼・黙禱の儀が行われました。

続いて大友会長より平素の市老連活動へのご協力に感謝の言葉と、会員増強運動に対し自治会総連合および社会福祉協議会のご指導、ご援助に感謝の言葉がありました。またこれからの老人クラブ活動の充実、発展に努力されるようお願いしますとの挨拶がありました。

次に永年にわたり老人クラブ活動に功績のあった方々の表彰式が行われました。

老人クラブ活動に功績のあった2団体

会長職6年以上の方

8名

会長以外の三役10年以上の方

4名

老人クラブの発展に寄与された方

1名

が表彰され、被表彰者を代表して緑地区緑寿会の浅岡 紳会長から謝辞が述べられました。

次に、小田原市長、市議会議長、県議会議員、自治会総連合会長よりそれぞれの立場からお祝いとお励ましの祝辞をいただきました。心より御礼申し上げます。

つづいて来賓の方々の紹介と、祝電の披露に続いて市老連常任理事の紹介を行いました。

次に片山副会長の音頭で宣言文を一同朗読後、山口副会長の閉会の言葉で式典を滞りなく終了しました。

午後より第2部の各地区自慢の芸能発表会があり客席の皆さんの声援で楽しい時間を満喫する事ができました。みなさまのご協力に感謝申し上げます。



生きがいふれあいフェスティバル
「第49回シルバー作品展」

総務部長 志村 善治

平成30年10月13日(土)と14日(日)の2日間、生きがいふれあいセンター「いそしぎ」にてシルバー作品展が開催されました。昨年は国政選挙と重なり、シルバー作品展は中止になったため、1年越しの開催で出展数が少ないのではないかと心配しましたが、会員の協力で例年通りの出展数(327点)でした。

作品は書道・絵画・手芸・彫刻・俳句・短歌・盆栽・陶芸・その他(写真・収集品など)の多岐に渡りレベルの高い力作でした。

14日(日)は小田原市の委託事業である『三世代交流事業』として餅つき・焼きそばの『食の実施』と竹トンボ・折り紙の『みんなで楽しむ日本の昔遊び』を行い、見学者は大変満足

されていたようです。また、加藤市長が14日に見学されタイミング良く餅つきの準備が整ったので、市長自身がひとひ餅つきをされたため、参加者の喝采を受けました。

2日間の見学者は延べ人数で1340人で大変盛況でした。今年も最高齢者の出展に対して大友会長から、女性は足柄地区の金子キヨさん、男性は上府中地区の隅田 昭さんに感謝状が贈呈されました。

シルバー作品展の開催に当たり、会場の設営・作品の搬入・展示・搬出・餅つき・焼きそば・竹とんぼ・折り紙・会場の撤収等々に関係者の皆様、ご協力有難うございました。



私たちは小田原市老人クラブ連合会の活動を応援しています

富士見地区が連覇

「第45回シルバースポーツ大会」
が開催された

体育部長 片山 勝

10月24日(水)酒匂川スポーツ広場で絶好の天候に恵まれ「第45回シルバースポーツ大会」が開催されました。

当日は加藤憲一(小田原市長)をはじめ多数の来賓を迎え、25地区(万年地区不参加)約850名が参加して盛大に行われました。市老連旗を先頭に各地区選手団が入場行進し、君が代斉唱・国旗・市旗の掲揚の後、29年度の優勝杯返還の後、大会会長の大友市老連会長の挨拶と、来賓代表者の加藤市長の激励の挨拶がありました。また来賓者の紹介を行い、市高齢介護課の保健師勝野さんの指導で準備体操を行った後、ボウリング競技からスタートしました。

今大会から「お玉リレー」「風船割リリレー」が団体競技に加わり、午前中から白熱する選手の熱気が伝わってきました。午前中の競技終了後、各地区で和気あいあいに昼食を取った後、小田原小唄から始まった「民謡踊り」には多数の参加で賑やかに終了し午後の競技を開始しました。

午後からの競技も上位地区が接戦となり結果はチームワークの差で「富士見地区」が昨年に続き優勝の栄冠に輝きました。審判長の成績発表の後、大友大会会長より杯と賞状・景品が授与されました。

大会実施に当たり前日より準備頂き、また終了後の片づけ、運搬等にご協力頂いた社会福祉協議会の

大会順位

優勝

準優勝

第3位

第4位

第5位

第6位

第7位

第8位

第9位

第10位

第11位

第12位

第13位

第14位

第15位

第16位

第17位

第18位

第19位

第20位

第21位

第22位

第23位

第24位

第25位

富士見地区
下曾我地区
桜井地区
山王網一色地区
下府中地区
十字地区
片浦地区
前羽地区
曽我地区
緑地区
下中地区
上府中地区
大窪地区
新玉地区
芦子地区
酒匂地区
足柄地区
早川地区
国府津地区
豊川地区
東富水地区
二川地区
富水地区
久野地区
幸地区

平成30年度

「小田原市創友クラブ
グラウンドゴルフ大会」が開催された

総務部長 志村 善治

創友クラブ恒例のグラウンドゴルフ大会が11月7日(水)酒匂川スポーツ広場に小田原市福祉健康部部长 神名部耕二様はじめ多数のご来賓をお迎えして開催されました。

前日午前中、雨が降り開催が危ぶまれましたが、現場を確認して開催を決定致しました。当日は曇りがちで肌寒く感じられましたが、大会は順調に進行しました。開会式は北村副会長の開会の言葉で始まり大友会長の挨拶の後、来賓の神名部部长様より祝辞を頂きました。

片山審判部長の競技説明の後、保健師青木のぞみさんの指導で準備体操を行い、身体をほくしてから競技を開始しました。

大会の参加選手は総勢54名、個人戦3ラウンドの合計スコアで順位を決めました。

競技終了後の閉会式で片山審判部長より成績発表があり、今大会も優勝5位の選手、飛び賞、BB賞、ホールインワン賞を夫々の選手に大友会長より授与されました。

今大会の講評として小田原市社会福祉協議会 常務理事 露木康男様より「上位選手に於いては常日頃の練習の成果が成績に結びついていると考えます。優秀な成績でした」との言葉を頂きました。入賞された選手の方々おめでとうございます。

今大会開催に当たり各地区の競技役員、各理事の方々のご協力有難うございました。

大会の表彰者

優勝(56) 小川 茂 (万年)
準優勝(57) 大川 陸一 (酒匂)
第3位(60) 星崎 晃(下府中)
第4位(61) 林 弘 (足柄)
第5位(65) 杉山 栄一 (前羽)
第10位 小玉 文雄 (新玉)
第15位 中川 伸弘(下府中)
第20位 山本 健治(東富水)
第25位 安藤 美茂 (幸)
第30位 小澤比佐江(山王網一色)
第35位 神保 武士(下曾我)
第40位 大坪 孝壽 (早川)
第45位 中島 敏夫 (片浦)
第50位 本間 豊(東富水)
BB賞 岩田 康博 (芦子)

ホールインワン賞

小川 茂(2回) 林 弘(2回)
小玉 文夫(2回) 大川 陸一(1回)
星崎 晃(1回) 杉山 栄一(1回)
河田 康弘(1回) 山本 茂(1回)
山本 健治(1回) 青木 靖夫(1回)
井田 克明(1回) 神保 武士(1回)
内田 好一(1回)



私たちは小田原市老人クラブ連合会の活動を応援しています

単位クラブ活動報告

片浦地区

(連合会長 宮本多喜子)

総会員数
387

石橋福寿会
米神さつき会
高砂会
江の浦老人会

会長 矢郷 昌行
会長 北村 秀夫
会長 宮本多喜子
会長 高橋 正敏

会員数

男 26	女 46	計 72
男 45	女 68	計 113
男 37	女 69	計 106
男 42	女 54	計 96

江の浦老人会 相生クラブの活動

定期総会を含めて年に3回の親睦会を開催しています。本年度は懇親会の前に講師による講演会を行いました。会員が健康で安心して明るく生活できるように「健康管理について」「地域の歴史について」「オレオレ詐欺等の防止と対策」等について勉強しました。

『環境美化活動』

江の浦海岸の海開きの前と終りに子供会・漁業関係者と海岸清掃を行っています。また輪番制で神社の境内の清掃と市から提供される花の植え替え作業に取り組んでいます。

『生活を豊かにする活動』

年1回の日帰りバス旅行の開催、月に2回カラオケ愛好者による、カラオケ教室を開催しています。



『関係機関との連携』
片浦連合老人会、市老連、自治会の行事への参加・協力を努めています。
(文:江の浦老人会相生クラブ
会長 高橋 正敏)

下府中地区

(連合会長 志村 善治)

総会員数
828

鴨宮2区第一長寿会 会長 飯山 輝夫
鴨宮2区第二長寿会 会長 細田 利一
鴨宮4区第一長寿会 会長 木 盛和
鴨宮4区第二長寿会 会長 長谷川 明也
鴨宮6区長寿会 会長 小泉 政治
矢作福寿会 会長 岩澤 俊弼
中里一区第一長寿会 会長 志村 善治
中里一区第二長寿会 会長 永井 永一
中里一区の2すこやか長寿会 会長 田中 満
中里二区悠友会 会長 新井 知功

会員数

男 33	女 25	計 58
男 36	女 28	計 64
男 22	女 27	計 49
男 28	女 30	計 58
男 22	女 20	計 42
男 55	女 59	計 114
男 52	女 75	計 127
男 48	女 64	計 112
男 58	女 63	計 121
男 45	女 38	計 83

下府中地区は10地区の単位クラブで構成されています。地域には大型の商業施設があり、休日には交通渋滞が起こる地域でもあります。

そのような中で、川東マロニエの一角を使用して、毎週火曜日と木曜日に誰でも立ち寄れる地域の相談や区民の交流の場作りに地区社協に協力して『ふらっとマロニエ』の運営に参加しております。習字・折り紙・水彩画・大人の塗り絵等の講師を務めています。

高齢者が誰でも参加できる憩いの場を作り会員相互の親睦づくりに努力しております。

また、自治会、民児協に協力して月に1回5力所の『ふれあいサロン』活動に参加し、小学生の登下校時の見守り活動にも参加しています。これからも会員の加入促進を図



り新会員と共に仲間作りや相互の親睦交流も益々深めて、楽しい長寿会の発展に努めています。

(文:鴨宮2区第一長寿会

会長 細田 利一)

下曾我地区

(連合会長 鳥越 睦夫)

総会員数
529

高砂会
若葉会
相生会
弥生会
福寿会

会長 鳥越 睦夫
会長 村上 文敏
会長 尾崎 輝雄
会長 川久保 旺
会長 久保寺公雄

会員数

男 44	女 66	計 110
男 37	女 60	計 97
男 54	女 56	計 110
男 60	女 61	計 121
男 43	女 48	計 91

下曾我は梅の里として有名ですが、曾我兄弟の史跡など小田原の歴史を語る土地でもあります。また近年は文学散歩の隠れた場所として多くの人が訪れています。

下曾我地区は現在単位クラブが5クラブあり、合同で行う世代間交流のイベントをはじめとして、市観光課が主管する曾我岳陵ウォーキングコースの合同一斉清掃作業に参加しています。またお茶飲み会、花見会、ボランティアによる各地区



の清掃作業等を行っております。

曾我原

弥生会は、

長年にわたる環境美化運動の一環として忠魂



碑、慰霊塔の清掃・除草・樹木の剪定などの清掃活動を(36年10月から)実施しております。毎月一回その時の環境状況に合わせて、いろいろな作業を実施しております。

昨年11月に長年にわたる活動が認められ、平成29年度神奈川県美化運動推進功労者として、神奈川県知事表彰を受けました。

これからも5地区の事情に合わせた活動を行い、お互いに励ましあい会員一同支え合い、頑張っ

て参ります。

(文:曾我原弥生会
会長 川久保 旺)

新玉地区

(連合会長 林 昌三)

総会員数
240

新玉第一おきな
新玉第二おきな
若葉親交会
新宿ことぶき会
新宿老友会

会長 伊藤 勝彦
会長 林 昌三
会長 蔦野日出夫
会長 田中 一乃
会長 高橋 孝一

会員数

男 13	女 21	計 34
男 15	女 24	計 39
男 31	女 43	計 74
男 15	女 31	計 46
男 16	女 31	計 47

体操愛好会の集まり
四季を問わず朝の体操の集い。私はこの集いに参加して7年になります。NHKの体操の時間に集合して皆で体操を行います。日曜日を除き天候に左右されることなく集まっております。

雨の日は学校の入り口から玄関までの約30mに屋根があり、ここを利用してこの間を往復して準備体操に変えています。

天気の良い日は校庭を和気あいあいと話をしながら散策して楽しい時間を過ごしております。ここでの情報交換が地区内老人の安否確認になり、この集いの目的の一つになっています。老人の健康維持のため、無理のない自由な運動を行う事にしております。

ラジオの曲に合わせて自由に体を動かし、終始笑顔で体操を行います。ラジオに合わせてラジオ体操の歌を歌います。体操終了後皆さん大声で「有難う、今日も頑張りました」



「また「じゃーねー」と言って別れます。

この集いには、老人会・自治会・ボランティアのメンバーも参加しているので情報交換や互いの意思疎通に有効に働いております。この会はいつまでも存続させたいと思っています。

(文:新玉第二おきな

会長 林 昌三)

市老連主要行事報告
(平成30年4月～平成30年9月分)

月	日	事業(会議)名	内 容	場 所
4	2～4	春季研修旅行	第1班 大窪・十字・早川・酒匂・桜井・二川・前羽・国府津・幸・片浦	4年ぶりの公開 日光東照宮 「国宝 陽明門」 拝観 参加者:230人
	4～7		第2班 久野・下府中・東富水・足柄・下中・富水	
	9～11		第3班 緑・下曽我・曽我・富士見・上府中・豊川・万年・新玉	
	17	西湘ブロック 連絡協議会	・事業計画について ・県老連委託事業について ・情報交換	おだわら総合 医療福祉会館4階
	18	常任理事会 監査 理事会	・平成29年度事業報告及び各会計収入 支出決算報告について ・監査 ・総会について 他	おだわら総合 医療福祉会館4階
5	10	慰霊塔清掃	早川・下府中・緑・富士見地区	市の慰霊塔
	10	常任理事会 理事会	・平成30年度事業計画及び各会計収入 支出予算案について ・総会について 他 ・加入促進運動について ・友愛チームリーダー研修会について ・老人大学の開催について	おだわら総合 医療福祉会館4階
	16	女性部研修会 (市高齢介護課共催)	「食で生き生き! 栄養教室」 (Bブロック 早川・十字地区対象)	早川公民館
	17	総 会	・平成29年度事業報告及び各会計収入 支出決算報告について ・監査報告 ・平成30年度事業計画及び各会計収入 支出予算案について	おだわら総合 医療福祉会館4階
	6	西湘ブロック交流 グラウンドゴルフ 大会	大会開催・参加選手100名・優勝:箱根	酒匂川 スポーツ広場
6	5	女性部研修会 (市高齢介護課共催)	「食で生き生き! 栄養教室」 (Bブロック 片浦・大窪地区対象)	早川公民館
	9	慰霊塔の清掃	下中・新玉・前羽地区	市の慰霊塔
	13	常任理事会 理事会	・平成30年度県老連理事長表彰につい て ・県老連からの調査「平成30年度市町 村老連実態調査に伴う会員の年齢構 成調査 ・西湘ブロック単位老人クラブリーダー・ 新任会長等研修会について ・友愛チームリーダー研修会について	おだわら総合 医療福祉会館4階
	21	友愛チームリーダー 研修会	・基調講演 「高齢者を訪問時の心得」 講師 小田原市高齢介護課 主査 瀬下 昌也氏 ・事例発表 「すみれ会の活動状況」 酒匂地区すみれ会 代表 鏡見 アキ氏	おだわら総合 医療福祉会館4階
	22	女性部研修会 (市高齢福祉課共催)	「食で生き生き! 栄養教室」 (Dブロック 片浦・大窪地区対象)	早川公民館
7	2	茨城県堺町老人会 と懇談会実施	境町いきいきクラブ連合会のメンバー 21名が来訪され、小田原の友愛活動を 勉強して境町の活動に参考にするため	おだわら総合 医療福祉会館4階
	10	慰霊塔の清掃	十字・二川・下曽我地区	市の慰霊塔
	10	常任理事会 理事会	・西湘ブロック「ゆめクラブ大学」開催に ついて ・健康づくり事業「体力測定」の開催 ・秋季研修旅行について ・生きがいふれあいフェスティバル 「シルバー作品展」について ・米寿会員の調査及び贈呈金の確認 ・「社会奉仕の日」について	おだわら総合 医療福祉会館4階
	11	女性部研修会 (市高齢福祉課共催)	「食で生き生き! 栄養教室」 (Dブロック 桜井・富水・東富水地区対象)	報徳記念館
	26	老人大学 第1講	・開講式:大友会長挨拶 ・講話:「高齢者の熱中症予防と対策」 武井内科医院・武井 和夫先生	おだわら総合 医療福祉会館4階
	28	共同募金活動	小田原駅改札口で7名参加	小田原駅

月	日	事業(会議)名	内 容	場 所
8	1	女性部研修会 (市高齢介護課共催)	「食で生き生き! 栄養教室」 (Cブロック 足柄・芦子・二川・久野地区対象)	けやき
	9	常任理事会 理事会	・平成30年度生きがいふれあいフェス ティバル、作品展参加賞 用具の手配・役割分担 ・単位クラブ会長研修会 2月6・7日 ホテルおかだ ・秋の旅行について ・第53回市老連大会について ・平成30年度「老人クラブ加入促進月 間」事業の実施について ・「第45回シルバースポーツ大会」 ・福祉友愛募金について ・会員の年齢構成調査結果について	おだわら総合 医療福祉会館4階
	10	慰霊塔の清掃	酒匂・久野地区	市の慰霊塔
	22	女性部研修会 (市高齢福祉課共催)	「食で生き生き! 栄養教室」 (Aブロック 緑・新玉・万年・幸地区対象)	保健センター
	27	西湘ブロック ゆめクラブ大学	・受講者:100名 ・健康体操「コグニサイズ」 神奈川健康財団:市野瀬 厚氏 ・骨とカルシウム 参与 高橋 博氏 ・タブレットを使った脳トレーニング	おだわら総合 医療福祉会館4階
9	29	体力測定 (健康づくり教室) [女性会員対象] 参加者 47名	・体力測定 ①握力 ②長座体前屈 ③上体起こし ④障害物歩行(10m) ⑤開眼片足立ち ⑥6分間歩行 ・講話 「いつまでもおいしく 食べるために」	おだわら総合 医療福祉会館4階
	31	体力測定 (健康づくり教室) [男性会員対象] 参加者 42名	講師 深沢 初江氏 川瀬 理絵氏	
	4	女性部研修会 (市高齢福祉課共催)	「食で生き生き! 栄養教室」 (Cブロック 足柄・芦子・二川・久野地区対象)	けやき
	9	常任理事会 理事会	・平成30年度街頭募金の日程について ・第45回シルバースポーツ大会 役割分担 ・第53回市老連大会役割分担 ・秋の研修旅行について ・30年度生きがいふれあいフェスティ バル役割分担について ・平成30年度米寿会員数の報告と 祝い金 ・会員増強運動に関するアンケート について	おだわら総合 医療福祉会館4階
	10	慰霊塔の清掃	富水・東富水・曽我地区	市の慰霊塔
9	12	老人大学 第2講	・講話「介護予防はお口から」 小田原歯科医師会 歯科衛生士	おだわら総合 医療福祉会館4階
	20	常任理事会 旅行責任者会議 理事会	・市老連大会での表彰者の審査 ・防年懇親会開催について ・市老連大会開催について ・生きがいフェスティバルについて ・第45回シルバースポーツ大会 について ・小田原創友クラブグラウンドゴルフ大 会について ・神奈川県老人クラブ連合会理事長の 表彰の表彰について ・平成30年度共同募金運動への協力に ついて	おだわら総合 医療福祉会館4階



旅行記

平成30年度秋季研修旅行 『姫路城・比叡山延暦寺2泊3日のバス旅行』

早川地区・紀宮老人会 秋山 和雄



(1日目)

10月4日(木)第3班2号車に5地区が相乗りして満車の状態です。早川地区からは男性5名の参加で、その中の一人は93歳です。当日は台風25号の影響で何時降り出すか分からない天気で心配しながら乗車しました。今日は多賀大社参拝と近江八幡の観光です。

主に八幡堀や近江商人の街並みを散策しました。近江商人の屋敷は碁盤の目の様に整然としており、それは豊臣秀次が商業都市の礎を築いたからだそうで、同じような屋敷で板堀の内側に赤松や黒松の見越しの松がある粋な造りになっていました。春日八郎の歌に「粋な黒堀見越しの松に」の当時から見越しの松は粋であったと思われれますが、屋敷には人は住んでいないようでした。

八幡堀は琵琶湖からの水路で運河による物資の運搬が行われていたそう

す。各地から商品を仕入れて、各地に販売する商業都市でもあった様です。近くに織田信長の「安土城址」があるが時間の関係で見学せず宿泊先のおごと温泉ホテルに到着した。

(2日目)

朝風呂に行く渡り廊下で屋外の雨の音を聞いた。フロントで確認すると天気は良くなるとのこと。一安心して朝食のバイキングに向かった。朝食後部屋に戻るとみんな飲み薬を出して薬の話、これは何時もの風景です。今日は姫路城見学です。バスに乗り込むとき雨は上がっており一安心、白壁の輝く姫路城に到着しました。

天気が良くガイドさんから「日除け傘を準備した方がよい」との話、今日もガイドさん付きで説明が始まるとガイドを中心に丸くなるため、他の見学者の通行の妨げになり道を開けるようにガイドの注意が何回もありました。



姫路城の石垣の石積みは「野面積み(のづらづみ)」「工法で非常に厚く築かれているため石不足で庶民の漬物石・石臼等も徴収されたとの事。城内には無数の仕掛けが施された門があり、最後は籠城となるための施設があり、2年間は耐えられるように設計されていたようです。姫路城は大天守と3つの小天守つながる連立式天守閣で白壁と相まって白鷺が羽を広げて舞う姿に例えられ別名「白鷺城」と呼ばれています。

(3日目)

今日は比叡山延暦寺の参拝です。バスは山中を走りやがて目的の延暦寺に到着し、僧侶に案内され改装中の「国宝根本中堂」足場の枠組みに乗り屋根を見学しました。とち板4枚を並べ次に銅板1枚を挟み込む、この繰り返しで屋根を葺く。これは銅板の緑青を計算した伝統の珍しい工法とのことでした。改修工事は10年かかるそうです。

帰りの車窓から琵琶湖周辺に植えられていた防風林と思われる松の木が無数に倒れたり抜かれたりしている状態を目にしました。24号台風の爪痕だそうです。帰路は順調で無事全員帰宅しました。

私たちは小田原市老人クラブ連合会の活動を応援しています

平成30年度
秋季研修旅行
『秋の旅に参加して』

片浦地区・高砂会 宮本多喜子

2日目の姫路城は一番楽しみにしていました。以前見学したときは、修理中で天守閣に覆いがかけられていて、がっかりしたものです。

このお城は西方の大名たちの攻撃から大阪を守るために、家康の指示で強固になったそうです。

天守に行くには、いくつもの門を通らなければならず、その度に石落しや、狭間から狙われたり、いろいろな仕掛けがあつて、なかなか目的の場所に届きません。

城内に入ると、東西の大柱が地階から5階まで通っていて、壁の中にはその当時の建築では珍しいかすがいが入れているとのこと、何回も地震に耐えてきたのもうなずけます。また持久戦に備え、他の城には見られぬ台所、食堂、トイレなどもあり、水はお菊井戸という深い井戸が設けられていました。

白鷺城と呼ばれる美しい外見は、壁が白くだけでなく、瓦も白い漆喰で塗り固められていました。このような状態にしてあれば地震の時も、熊本城の様に瓦が崩れてしまったりしないだろうと思います。軒瓦には代々の城主の家紋が残っていました。また鬼瓦の一つには十字紋があり、よく壊されなかったものだと思いました。

入場口のそばに、明治昭和平成と三代の鯨鯨がならべてありましたが、形・大きさは変わらないけれど、鱗や鰭がだんだんと簡素になって、名古屋城のものに比べると、何と質素なことかとちょっと残念です。

時間が足りず、2階までしか行けませんでした。また行く機会があれば、ぜひ大天守の一番上まで登ってみたいと思います。

平成31年度小田原創友クラブ春季研修旅行

(お1人様)

38,000円

●宿泊代(2泊)・食事代(夕2・朝2・昼3・軽夕食并当1)
●旅行傷害保険、消費税を含みます。

戸倉上山田温泉『ホテル圓山荘』・草津温泉『喜びの宿 高松』ご宿泊

ぐるっと信州・ググっとぐんま! 名所を巡る2泊3日の旅

日程	行 程
第1日	小田原市内各地＝厚木PA(休憩・集結)＝上里SA(休憩)＝高崎白衣大観音(散策)＝ 6:15～7:00出発 8:05～8:25 9:50～10:05 10:45～11:30 おぎのや横川店(昼食)＝上田城跡(見学)＝戸倉上山田温泉『ホテル圓山荘』(宿泊) 12:30～13:30 14:40～15:40 16:20頃 ■ご宿泊ホテル 上山田温泉 ホテル圓山荘 ☎026-275-1119
第2日	ホテル＝善光寺(参拝)＝マンスワイン小諸ワイナリー(見学)＝軽井沢プリンスホテルウエスト(昼食)＝ 8:00出発 9:10～10:00 11:10～11:40 12:30～13:30 旧軽井沢銀座(散策)＝草津温泉『喜びの宿 高松』(宿泊) 13:40～15:00 16:20頃 ■ご宿泊ホテル 草津温泉 喜びの宿 高松 ☎0279-88-3011
第3日	ホテル＝八ッ場ダム(車窓見学)＝浅間酒造観光センター(買物)＝水澤寺・観音堂(参拝)＝上州物産館(昼食)＝ 8:40出発 9:00～9:30 ※現地ガイド案内付 ～10:00 11:10～11:50 12:00～13:00 大理石村 ロックハート城(見学)＝赤城高原SA(弁当積込・休憩)＝狭山SA(休憩)＝小田原各所 13:40～15:00 15:25～15:45 17:15～17:30 19:00～19:45頃

草津温泉 喜びの宿 高松

2日目

戸倉上山田温泉 ホテル圓山荘

1日目

宿泊先

※この旅程は運輸機関のダイヤ改正及び各地の道路状況等により多少時間変更になる場合がございます。※出発日より、見学順が変更になる場合があります。

班	日 程	地 区
1班	3/31(日)～4/2(火)	足柄・幸・山王網一色・芦子・桜井・久野・上府中・緑・早川・二川・大窪・十字・下中・前羽

班	日 程	地 区
2班	4/3(水)～4/5(金)	東富水・豊川・国府津・新玉・酒匂
3班	4/4(木)～4/6(土)	下府中・曾我・片浦・富士見・万年・下曾我・富水

- 申込方法／最寄りのクラブ会長様に旅行代金を添えてお申し込み下さい
■お問い合わせ／小田原市老人クラブ連合会事務局 ☎ 0465-(32)-5800
もしくは最寄りのクラブ会長様へ

旅行取扱会社
伊豆箱根バス(株) 静岡県知事登録旅行業第2-538号
伊豆箱根トラベル神奈川旅行センター
☎ 0465-23-0266

私たちは小田原市老人クラブ連合会の活動を応援しています

会 員 文 芸

俳 句

十字地区 銀杏の会 生田目茂子
春 かまきりに居場所ゆずれれ剪定す
秋 天高し着帽重き猫駅長

酒匂地区 大道敬和会 小寺 光男
客ふたりカブト虫舞う山の宿
まだ五分も咲かずといえど梅まつり
あの笑顔妻在りし日や梅まつり

短 歌

富水地区 飯田岡第一寿会 岡田チヨ子
朝まだき鴉の鳴きこえ気になりぬ
族はどこも古い人なりし
稜線を茜にそめて陽はしずみ
明日の天気も晴天なるや

酒匂地区 大道敬和会 小寺 光男
眼圧がQだと医師に告げられて
チャリで坂道ぐんぐん登る
丹沢へ登山のようなりユック負い
中学生の登校の列
茜空亡妻の笑顔 浮かび出る
寂しさつる秋の夕暮れ

酒匂地区 長生会 本田 博保
庭先にあかるい声に吾知らず
胸の高なりおさえることが

川 柳

酒匂地区 大道敬和会 小寺 光男
老いが老い、轢きつ轢かれつ警老日
亡妻宇宙で静大梯子たぐり寄せ
(娘夫婦が共に静岡大学卒業生)

29が777に青い空
(戦時時のB-29爆撃機で空襲、
今はB-777旅客機が政府専用機)

酒匂地区 長生会 本田 博保
松むかうひと休みする宵の空
夜勤おえ家路に急ぐ除夜の鐘

桜井地区 曾比和楽会 宮崎 悦子
シルバー大会雄々然と冬の鳥
大会を気になる素振り雪の富士

富水地区 西北長寿会 熊坂 千枝
米寿越え共に無事なり菊日和
千歳鉛持つて笑顔の孫娘
道祖神野菊背にして日暮れ道

酒匂地区 寿楽会 渡辺 一弘
(故郷万感)
武骨なる手からしみぬ実直さ
君が竹馬の友で良かった
相変わらず墨黒々と太き字で
君の賀状は元気のしるし
母逝きし一月二七日常に雪
越後水原我は十歳
唸りあげ地吹雪の中行商す
父の姿生涯忘れじ
シベリヤへ旅立つ飄湖の白鳥は
群れなし空へと準備始める

桜井地区 城北健寿会 杉山 久子
電柱のかげに重ねて信号の
かわるを待てり酷暑のま昼
異例なき酷暑のなつも過ぎ去りて
田んぼの畦に彼岸花見ゆ

十字地区 銀杏の会 生田目茂子
(猫二題)
二匹とも恋を知らずに十五才
オレじやなく猫が呼ばれるおやつとき

前羽地区 町屋長楽会 大井川悦雄
閻魔さま助つ人探しに悲鳴上げ
甲子園流した涙で育つところ
トランプさん貿易赤字にババー出す

日々の雑感

酒匂地区 大道敬和会 小寺 光男

ばあば逝く (昔の歌の替え歌)
一、夕陽は赤く 雲を染め
流れる涙 頬つたう
さくらば別れぞ わが妻よ
五十余年の 歳月よ
二、ばあばひとりで 辿り行く
旅路おもえば 涙ささ
枯れて儚く 情けなや
ああ行く先は まだほるか
三、十万億土は 空の涯
ばあばあの世で われこの世
逢う瀬はいずこ いつの日か
黄泉路を歩む 妻恋し

原稿募集

「小田原創友クラブ」73号(2019年夏号)に原稿をお寄せください。単位クラブ

の紹介・(万年地区・国府津地区・二川地区・早川地区)クラブ活動の様子、特別な行事等紹介して下さい。(写真添付)日々の雑感、旅行記、俳句、短歌、川柳などお寄せください。

*紙面の都合で長文の場合は一部をカットさせていただくか、次号回しにすることがあります。*二重投稿、発表済みのものは受付いたしません。*必ず氏名、地区名、クラブ名、電話番号を明記して下さい。

発行 2019年8月

締切日 2019年6月1日

宛先 〒250-0055

小田原市久野115-2 おだわら総合医療福祉会館内
小田原市老人クラブ連合会「小田原創友クラブ」教養部

私たちは小田原市老人クラブ連合会の活動を応援しています



「小田原創友クラブ」72号に多数の投稿をいただきありがとうございます。市老連は秋季の行事が多かったです。また、単位クラブの活動報告もそれぞれに特色を記事にして頂き活動が見える紹介で良かったと思います。

次回発行の73号は年度初めの行事の記事が多くなりますが、また新しい企画を検討し取り入れたいと思います。教養部一同心を引き締め次号の編集に向かって頑張りますので、ご指導、ご鞭撻をよろしくお願い致します。

(教養部)

あとがき

会員加入増強運動 期間中です

平成26年から5カ年間で県老連では
20,000人の目標で実施致しております。

小田原創友クラブの推進項目として

- ◎未加入者宅にパンフレットの投函
- ◎会員1人が新しい会員1名以上の勧誘をする。
- ◎未加入自治会の創友クラブの結成をはかる。

※単位クラブ2名以上の増員が最低目標ですので皆さま全会員で努力しましょう。

ご協賛いただいた皆様への御礼

このたびは、広報紙に広告のご協賛をいただき、誠にありがとうございます。本紙は紙面を通じて会員の交流・情報交換はもとより、地域の皆様に老人クラブの活動をご理解いただき、一層の交流の輪を広げるため発行するものでございます。以上の趣旨をご理解いただき、引き続き広告掲載のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

【小田原市老人クラブ連合会】

私たちは小田原市老人クラブ連合会の活動を応援しています
